



2015年7月30日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ブラジルの政策金利の引き上げについて

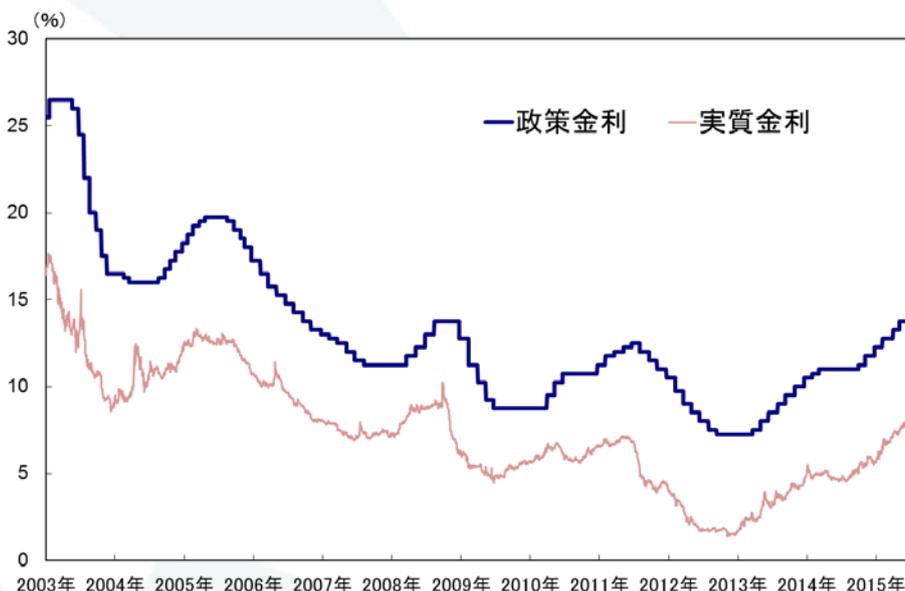
ブラジル中央銀行は、現地 2015 年 7 月 29 日に金融政策委員会 (COPOM) を開催し、市場の予想通り、政策金利 (Selic Target Rate) を 0.50% 引き上げて 14.25% としました。政策金利の引き上げは、2014 年 10 月以降 7 会合連続となります。

ブラジル地理統計院 (IBGE) が発表した 6 月の拡大消費者物価指数 (IPCA) の上昇率は前月比でプラス 0.79%、前年同月比ではプラス 8.89% と、インフレ率目標範囲の中央値である 4.5% を大きく上回る状態が続いています。また、7 月 22 日にブラジル政府は、2015 年の基礎的財政収支の黒字目標を引き下げたうえ、追加の歳出削減を発表しました。さらに、6 月の失業率は 6.9% と 6 ヶ月連続で上昇し 5 年ぶりの高水準となりました。

7 月 28 日には、スタンダード・アンド・プアーズ (S&P) が、ブラジルの格付けを「BBB-」で据え置いたものの、ブラジル経済が着実な成長軌道に戻るには時間がかかると見ており、見通しについては「安定的」から「ネガティブ」へと引き下げました。

利上げは想定内であり、ブラジル株式市場や債券市場への影響は限定的であると考えています。為替市場については、S&P による見直し引き下げを受け、28 日には下落する局面もありましたが、その後は反発し、7 月 30 日早朝の東京時間のリアル相場は落ち着いた動きとなっています。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2015年7月29日、2015年7月24日まで)



*政策金利：Selic Target Rate を使用 *実質金利：名目金利とインフレ率を使用し算出 (データ出所：ブラジル中央銀行)

■本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。■本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。■本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。